



機構ニュース

Vol.191 2019 April

今月の記事

Top News

- 22 人に博士の学位を授与
—大学院博士課程相当の課程修了者—
……………1
- 平成30 年度学位記伝達式を開催
—防衛医科大学校医学教育部医学研究科を修了した者—
……………1
- 1,126 人に学士の学位を授与
—学部相当の課程修了者—
……………2
- 24 人に修士の学位を授与
—大学院修士課程相当の課程修了者—
……………3
- 4 人に博士の学位を授与
—大学院博士課程相当の課程修了者—
……………3
- 卒業式典で学位記を授与 ……………3

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

- INQAAHE隔年総会2019、
APQN総会2019に出席 ……………4

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

- 新規刊行物のご案内
—『諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要：韓国（第2版）』
……………6

- 大学ポータルウェブサイトをリニューアル
……………7

評価事業

大学機関別認証評価等について

- 平成30 年度実施大学機関別認証評価の評価結果について ……………8
- 平成30 年度実施大学機関別選択評価の評価結果について ……………8

高等専門学校機関別認証評価について

- 平成30年度実施高等専門学校機関別認証評価の評価結果について ……………9
- 平成30年度実施選択的評価事項に係る評価の結果について ……………9

法科大学院認証評価について

- 平成30 年度実施法科大学院認証評価の評価結果について ……………11

機構の窓

- 会議の開催状況 ……………12

主要行事日程

- Schedule（5月～6月） ……………13

TOP NEWS

○ 22人に博士の学位を授与 ー大学院博士課程相当の課程修了者ー

平成30年9月に防衛医科大学校医学教育部医学研究科を修了した博士の学位授与申請者に対して、医学・薬学専門委員会において、論文審査及び口頭試問が行われました。

この審査結果に基づき、平成31年2月15日(金)開催の学位審査会において最終審査が行われ、22人に対して学位を授与することを決定しました。

<博士の学位取得者数>

認定課程名	専攻分野	取得者数(人)
防衛医科大学校医学教育部医学研究科	医学	22

○ 平成30年度学位記伝達式を開催 ー防衛医科大学校医学教育部医学研究科を修了した者ー

当機構は、防衛医科大学校の大学院に相当する教育課程を修了した者のうち、当機構における審査(学位論文及び口頭試問)を受け、合格した者の学位の授与について、平成31年2月22日(金)、千代田区一ツ橋の当機構竹橋オフィスにおいて、学位記伝達式を開催しました。

伝達式では、各関係者列席のもと、防衛医科大学校の長谷学校長へ学位記が伝達され、福田機構長からの「学位の質を保証し、国際的な通用性を担保するために、今後とも貴大学校との緊密な連携をはかりながら精進を重ねていきたい。」との挨拶により伝達式は締めくくられました。また、伝達式終了後、講評が行われ、研究開発部の教員との意見交換が行われました。



平成30年度学位記伝達式の様子

○ 1,126 人に学士の学位を授与 ー学部相当の課程修了者ー

大学の学部に対応する教育を行う課程として認定した課程の平成 31 年3月修了者から学士の学位授与の申請があり、学位審査会における審査の結果、1,126 人の申請者に学士の学位を授与しました。

＜学士の学位授与申請者数及び取得者数＞

認 定 課 程 名	専 攻 分 野	申請者数及び取得者数（人）
防衛大学校本科	理 学	37
	工 学	351
	社 会 科 学	83
	人 文 科 学	32
	計	503
防衛医科大学校医学教育部医学科	医 学	76
防衛医科大学校医学教育部看護学科	看 護 学	112
水産大学校本科	水 産 学	192
海上保安大学校本科	海 上 保 安	44
気象大学校大学部	理 学	11
国立看護大学校看護学部看護学科	看 護 学	100
職業能力開発総合大学校総合課程	生 産 技 術	88
合 計		1,126

○ 24 人に修士の学位を授与 —大学院修士課程相当の課程修了者—

平成 31 年 3 月に防衛大学校理工学研究科前期課程、同校総合安全保障研究科前期課程、水産大学校水産学研究科、国立看護大学校研究課程部看護学研究科前期課程を修了する見込みの修士の学位授与申請者等に対して、社会科学、理学、看護学・保健衛生学・鍼灸学、工学・芸術工学、水産学の各専門委員会において、論文審査及び口頭試問が行われました。

この審査結果に基づき、学位審査会において最終審査を行った結果、24 人に対して学位を授与することを決定しました。

＜修士の学位取得者数＞

認 定 課 程 名	専 攻 分 野	取得者数（人）
防衛大学校理工学研究科前期課程	理 学	1
	工 学	2
防衛大学校総合安全保障研究科 前期課程	安 全 保 障 学	9
水産大学校水産学研究科	水 産 学	4
国立看護大学校研究課程部 看護学研究科前期課程	看 護 学	8
合 計		24

○ 4 人に博士の学位を授与 —大学院博士課程相当の課程修了者—

平成 31 年 3 月に防衛大学校理工学研究科後期課程及び同校総合安全保障研究科後期課程を修了する見込みの博士の学位授与申請者に対して、社会科学、工学・芸術工学の専門委員会において、論文審査及び口頭試問が行われました。

この審査結果に基づき、学位審査会において最終審査を行った結果、4 人に対して学位を授与することを決定しました。

＜博士の学位取得者数＞

認 定 課 程 名	専 攻 分 野	取得者数（人）
防衛大学校理工学研究科後期課程	工 学	3
防衛大学校総合安全保障研究科 後期課程	安 全 保 障 学	1
合 計		4

○ 卒業式典で学位記を授与

福田機構長が防衛医科大学校卒業式典（平成 31 年 3 月 9 日（土））において学位記の授与を行うとともに、防衛大学校卒業式典（平成 31 年 3 月 17 日（日））に来賓として出席しました。

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

○ INQAAHE 隔年総会 2019、APQN 総会 2019 に出席

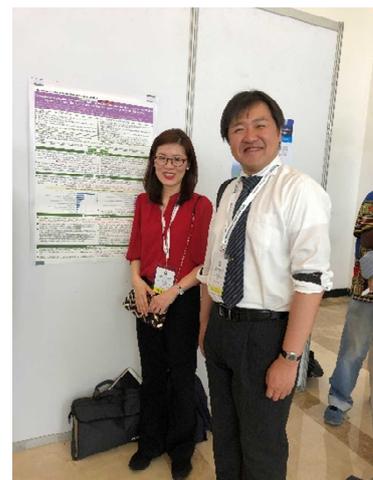
平成 31 年 3 月下旬にスリランカのコロンボにて、高等教育質保証機関の国際的ネットワーク (INQAAHE : International Network for Quality Assurance Agencies in Higher Education) の隔年総会とアジア太平洋質保証ネットワーク (APQN : Asia Pacific Quality Network) の総会が開催され、当機構教職員が出席しました (主催機関 : スリランカ University Grants Commission (UGC)、INQAAHE 隔年総会 : 3 月 26 日~27 日、APQN 総会 : 3 月 29 日~30 日)。当機構は両ネットワークの正会員です。



発表する森教授 (INQAAHE)

INQAAHE 隔年総会では、「質保証、資格、承認：グローバル化した世界で信頼を育む」をテーマに、卒業生の雇用可能性を重視した教育プログラムの開発や、デジタル技術を用いた資格の証明、グローバル化に伴う学生の流動化と国境を越えた資格の承認に関する課題と質保証の関係等について講演が行われました。

当機構からは森研究開発部教授が全体講演のパネルディスカッションに登壇したほか、分科会で日本における外国の教育制度や資格についての情報提供等に対する需要に関する調査と高等教育の資格の承認に関するユネスコの地域規約について、発表を行いました。このほか、金研究開発部准教授と渋井研究開発部准教授は、日本及び台湾における学習成果のアセスメントと大学内部質保証に関する台湾高等教育評鑑中心基金会 (HEEACT : Higher Education Evaluation & Accreditation Council of Taiwan) との共同研究プロジェクトについてポスター発表を行いました。総会の最終日には、全体会で会長及び事務局から活動報告があり、2020 年 3 月にロシアのモスクワでメンバーフォーラムが開催されること等が発表されました。



ポスター発表する金准教授 (左)
と渋井准教授 (右) (INQAAHE)

APQN 総会では、「アジア太平洋地域の質保証：未来への洞察」をテーマに、持続可能な開発目標 (SDGs) と高等教育質保証の関係、エルゼビア社と世界銀行が共同で行っている南アジア地域の高等教育に関する調査研究の概要、スリランカにおける高等教育の動向等について講演が行われました。

当機構からは、総会の初日に行われた全体講演において土屋研究開発部特任教授が、昨年より実施している APQN 質保証用語集プロジェクトの概要について発表し、分科会においては金准教授が、韓国大学評価院 (KUAI : Korean University Accreditation Institute) との質保証枠組に関する比較共同研究について発表しました。また、総会最終日には全体会が行われ、APQN 事務局が本会合をもって上海教

育評価院（SEEI：Shanghai Education Evaluation Institute）から中国教育部高等教育教學評価センター（HEEC：Higher Education Evaluation Center）に移行されること、次回の APQN 総会が 2020 年 4 月にシンガポールで開催されること等が発表されました。



発表する金准教授（左）と土屋特任教授（右）（APQN）

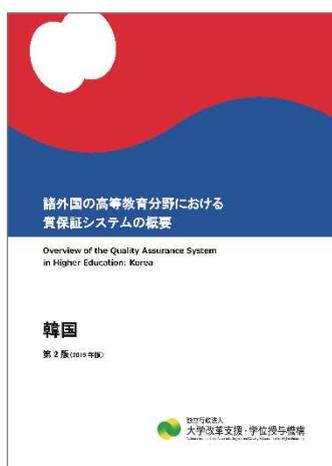
諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

○ 新規刊行物のご案内 — 『諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要：韓国(第2版)』

当機構では、国内外の高等教育質保証の基本的な情報のほか、日本の高等教育機関が質の保証・向上を図る上で有益な海外の事例を収集し、刊行物等にまとめて広く発信しています。

今回は、新規刊行物として、「諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要：韓国(第2版)」を平成31年3月に刊行しましたので、ご案内します。

『諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要：韓国(第2版)』



当機構では、日本の高等教育質保証に関する用語や制度の仕組み等を一体として発信するためのツールとして「インフォメーション・パッケージ」を作成し、ウェブサイトに公開しています。さらに、その一環として、諸外国の高等教育制度・質保証制度に関する情報をまとめた概要を公開しています。

韓国版については、平成24年に初版を刊行し、およそ7年ぶりに改訂しました。第2版では、韓国の教育部や質保証機関等が公開している情報を基に、韓国の高等教育制度や質保証制度の概要及び最近の統計や動向等を収録しています。

本概要は無料でPDF版をダウンロードいただけます。

各大学等における評価業務の理解や国際関係業務、また、FD・SD活動の実施に当たりご活用いただけましたら幸いです。

新規刊行物掲載先：[当機構出版物等（インフォメーション・パッケージ）掲載ページ](#)

○ 大学ポートレートウェブサイトをリニューアル

平成31年4月1日（月）、大学ポートレートのウェブサイトをリニューアルしました。

大学ポートレートとは、データベースを用いた国公立の大学の教育情報を公表・活用する共通的な仕組みとして、大学のオフィシャルな教育情報を共通のフォーマットに基づき専用のウェブサイトを通じて広く社会に公表するものです。公表される教育情報は、大学自らが責任を持って提供しており、信頼性の高い最新情報が掲載されています。

このたびのリニューアルに伴い、ウェブサイトデザインやページ構成が一新されたほか、検索機能の操作性が改善されています。今夏を目処に大学の学部・研究科等ごとの専攻分野及び取得可能な資格の情報の掲載も予定しており、閲覧者の皆様のさらなる利便性の向上を目指します。

大学ポートレートウェブサイト URL

<https://portraits.niad.ac.jp/>

The screenshot shows the search page of the University Portraits website. At the top, there is a navigation bar with the site name '大学ポートレート' and several utility links. Below this is a search bar and a list of navigation tabs. The main content area is titled '大学・短期大学検索' and contains several filter sections: '設置形態' (Institution Type) with checkboxes for 国立, 公立, 私立, and 株式会社立; '課程区分' (Course Division) with checkboxes for 学士課程, 修士課程, 博士課程, and 専門職学位課程; '短期大学士課程' (Short-term University Graduate Course); '学校名' (School Name) with a text input field; '学部・研究科名 (短期大学の学科名)' (Faculty/Department Name); '学科・専攻名' (Major Name); and 'キャンパスの所在地' (Campus Location) which includes a map of Japan and a list of checkboxes for various prefectures and cities. A '詳細検索条件' (Detailed Search Conditions) section is also present on the right. At the bottom, there is a large orange button labeled '選択条件で検索する' (Search with selected conditions).

評価事業

■大学機関別認証評価等について

○平成30年度実施大学機関別認証評価の評価結果について

当機構では、平成30年度に実施した大学機関別認証評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該大学及びその設置者へ通知するとともに、文部科学大臣に報告しました。

今回、認証評価を実施した全ての大学が、大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、当機構の定める大学評価基準を満たしているとの評価結果となりました。

なお、対象大学ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え「[平成30年度大学機関別認証評価実施結果報告](#)」として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

<対象大学>

【国立大学】

- ・筑波技術大学

【公立大学】

- ・公立はこだて未来大学
- ・秋田公立美術大学
- ・山梨県立大学
- ・愛知県立大学

○平成30年度実施大学機関別選択評価の評価結果について

当機構では、平成30年度に実施した大学機関別選択評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該大学及びその設置者へ通知しました。

今回、選択評価を実施した大学の評価結果は、次のとおりとなりました。

<評価結果>

○選択評価事項C「教育の国際化の状況」（1大学）

【国立大学】

- ・岡山大学 目的の達成状況が良好である

※評価結果の表記について

評価結果	判断の際の考え方
目的の達成状況が極めて良好である。	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が非常に優れており、目的に照らして全体の達成状況が極めて良好であると判断される場合
目的の達成状況が良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が優れており、目的に照らして全体の達成状況が良好であると判断される場合
目的の達成状況がおおむね良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に改善すべきところはあるが、目的に照らして全体の達成状況がおおむね良好であると判断される場合
目的の達成状況が不十分である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に問題があり、目的に照らして全体の達成状況が不十分であると判断される場合

なお、対象大学の評価結果については、全体を通じての概要等を加え「[平成30年度大学機関別選択評価実施結果報告](#)」として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

■高等専門学校機関別認証評価について

○平成30年度実施高等専門学校機関別認証評価の評価結果について

当機構では、平成30年度に実施した高等専門学校機関別認証評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該高等専門学校及びその設置者へ通知するとともに、文部科学大臣に報告しました。

今回、認証評価を実施した全ての高等専門学校が、当機構の定める高等専門学校機関別認証評価基準を満たしているとの評価結果となりました。

なお、対象高等専門学校ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え「[平成30年度高等専門学校機関別認証評価実施結果報告](#)」として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

<対象高等専門学校>

【国立高等専門学校】

- ・八戸工業高等専門学校
- ・長野工業高等専門学校
- ・沼津工業高等専門学校
- ・鈴鹿工業高等専門学校
- ・明石工業高等専門学校
- ・阿南工業高等専門学校

○平成30年度実施選択的評価事項に係る評価の評価結果について

当機構では、平成30年度に実施した選択的評価事項に係る評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該高等専門学校及びその設置者へ提供しました。

選択的評価事項に係る評価は、認証評価を実施した高等専門学校のうち、希望のあった高等専門学校について実施し、当該事項に関わる対象高等専門学校の有する目的の達成状況について評価しました。

<評価結果>

○選択的評価事項A「研究活動の状況」（6高等専門学校）

【国立高等専門学校】

- ・八戸工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・長野工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・沼津工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・鈴鹿工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・明石工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・阿南工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である

○選択的評価事項B「地域貢献活動等の状況」（6高等専門学校）

【国立高等専門学校】

- ・八戸工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・長野工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・沼津工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・鈴鹿工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・明石工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・阿南工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である

※評価結果の表記について

評価結果	判断の際の考え方
目的の達成状況が非常に優れている	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が非常に優れており、目的に照らして全体の達成状況が非常に優れていると判断される場合
目的の達成状況が良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が優れており、目的に照らして全体の達成状況が良好であると判断される場合
目的の達成状況がおおむね良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に改善すべきところはあるが、目的に照らして全体の達成状況がおおむね良好であると判断される場合
目的の達成状況が不十分である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に問題があり、目的に照らして全体の達成状況が不十分であると判断される場合

なお、対象高等専門学校ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え「[平成 30 年度選択的評価事項に係る評価実施結果報告](#)」として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

■法科大学院認証評価について

○平成30年度実施法科大学院認証評価の評価結果について

当機構では、平成30年度に実施した法科大学院認証評価（本評価）の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該法科大学院を置く大学及びその設置者へ通知するとともに、文部科学大臣に報告しました。

今回、認証評価（本評価）を実施した法科大学院13校のうち、11校の法科大学院が評価基準に適合しており、2校の法科大学院が適合していないとの評価結果となりました。

なお、対象法科大学院ごとの評価結果（本評価）については、全体を通じての概要等を加え「[平成30年度法科大学院認証評価実施結果報告](#)」として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

<対象法科大学院>

【国立大学】

- ・東北大学大学院法学研究科総合法制専攻
- ・東京大学大学院法学政治学研究科法曹養成専攻
- ・横浜国立大学大学院国際社会科学府法曹実務専攻 ※
- ・名古屋大学大学院法学研究科実務法曹養成専攻
- ・京都大学大学院法学研究科法曹養成専攻
- ・大阪大学大学院高等司法研究科法務専攻
- ・神戸大学大学院法学研究科実務法律専攻
- ・広島大学大学院法務研究科法務専攻
- ・九州大学大学院法務学府実務法学専攻

【公立大学】

- ・首都大学東京大学院法学政治学研究科法曹養成専攻
- ・大阪市立大学大学院法学研究科法曹養成専攻

【私立大学】

- ・学習院大学大学院法務研究科法務専攻
- ・近畿大学大学院法務研究科法務専攻 ※

（※は、評価基準に適合していないとする評価結果となった法科大学院）

機構の窓

○ 会議の開催状況

- 大学機関別認証評価委員会

第4回 平成31年3月1日（金）～平成31年3月8日（金）

※書面審議により開催

議事

- 1 平成30年度大学機関別認証評価に係る評価結果について

- 高等専門学校機関別認証評価委員会

第3回 平成31年3月4日（月）～平成31年3月13日（水）

※書面審議により開催

議事

- 1 平成30年度高等専門学校機関別認証評価に係る評価結果について
- 2 平成31年度高等専門学校機関別認証評価に係る専門委員の選考について
- 3 その他

- 法科大学院認証評価委員会

第4回 平成31年3月14日（木）

議事

- 1 評価結果について
- 2 「教育課程、教員組織その他法科大学院の教育活動全般に係る重要な変更又は状況の変化」及び「対応状況報告書」の調査結果に対する評価結果への付記事項（案）に対する意見について
- 3 重点基準を満たさないおそれがある事項（案）に対する意見について
- 4 専門委員の選考について
- 5 法科大学院関係法令の改正について
- 6 その他

- 国立大学教育研究評価委員会

第53回 平成31年3月19日（火） 10時30分～12時30分

議事

- 1 「実績報告書作成要領（案）」及び「評価作業マニュアル（案）」に関する意見募集の結果への対応について
- 2 学系別の記載項目のガイドラインについて
- 3 専門委員の選考について
- 4 その他

主要行事日程

○ Schedule

5月

日	行事名	担当課
24日	学位審査会(2019年度第1回)	学位審査課

6月

日	行事名	担当課
16日	2019年度4月期学位授与試験(小論文)(東京地区、大阪地区)	学位審査課
16日	2019年度4月期学位授与試験(面接)(東京地区)	学位審査課



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education